

## ○ 第10回

1. 日 時 平成17年6月27日(月) 11:00~12:30

2. 場 所 東京都港区虎ノ門4-1-1  
虎ノ門パストラル新館6階 ペーシュの間

3. 委員の現在数 4 名

4. 出席した委員の数及び氏名

委員長 若杉 敬明

委 員 神谷 高保

委 員 中村 実

委 員 山崎 元

以上 4名 出席

5. 議 題

I. 積立金運用実績 (報告)

(平成16年度実績および平成17年6月末現在)

II. 再処理等積立金資金管理業務の概要 (報告)

6. 開 会

事務局から、本日の積立金運用委員会は同規則第4条の規定による定足数を満たしているので、有効に成立している旨の報告があった。

続いて、板倉治成理事長が挨拶を述べた後、経済産業省放射性廃棄物対策室長の山近氏よりご挨拶を頂き、委員長は議事に入った。

7. 議事の概要

井上毅専務理事から、上記5.の議題について下記の説明を行った。

I. 積立金運用実績(平成16年度実績および平成17年6月末現在)

平成16年度運用額は、平成15年度積立金受入分(578億円)から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた567億円。

運用内訳は、国債274億円(48%)、政府保証債91億円(16%)、地方債90億円(16%)、事業債110億円(20%)と、ほぼ計画通りの運用を達成できた。

購入債券の平均利回りは1.51%で、運用の評価基準となる同時期にお

ける長期国債応募者利回りを運用計画に基づく月々の購入予定額で加重平均した利回り 1.43%を上回った。

平成17年度運用額は、平成16年度積立金受入分（633億円）から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた600億円を見込む。平成17年6月末現在、ほぼ計画通り運用している。

\* 年度運用対象期間は3月から2月まで。

## II. 再処理等積立金資金管理業務の概要

最終処分以外の再処理事業等の包括的な資金担保を目的とした「原子力発電における使用済燃料の再処理等のための積立金の積立て及び管理に関する法律」が平成17年5月に成立したため、この法律の概要について報告した。

上記I. およびII. の報告について了承した。

## 8. 次回スケジュール

平成18年1月下旬を目途に開催したい。

## 9. 閉会

以上をもって議事全てを終了し、委員長は閉会を宣した。

### <委員会で寄せられた意見>

#### I. 積立金運用実績（平成16年度実績および平成17年6月末現在）

○積立金の運用については、計画どおり運用されており的確な運用だったのではないかと。また、保有債券についても、信用リスク管理がされており受託者責任を果たしているのではないかと。

#### II. 再処理等積立金資金管理業務の概要

○当センターは、最終処分積立金の管理・運用ノウハウを確立し、実績も十分ある。再処理等積立金についても、管理・運用のノウハウは共通するものが多いのではないかと。

「事務局」資金管理業務部	TEL: 03-5157-5850
--------------	-------------------